



十種ヶ峰

第32号 2009.9 (季刊 6月・9月・12月・3月 発行)

9月17日(木)~18日(金)

中四国地区青少年教育施設連絡協議会研究大会開催

~中四国地区青少年教育施設連絡協議会研究大会~
中四国地区の青少年教育施設職員46名が参加し、
「新しい時代に求められる青少年教育施設のあり方」を
研究主題に、当センターで盛会のうちに開催されました。

記念講演(1日目)

「りんご育てる。人を育てる。大切なものを次代につなぐ。」

講師：徳佐りんご組合組合長 友清 達一郎氏

プロフィール

友清りんご園を経営、りんご農家一筋。安心安全なりんごづくりをモットーに、若い人との繋がりを大切にしながらふるさと振興に多大な貢献をされるほか、平成8年から中国山東省でりんご栽培技術の指導にも尽力されている。

ご自身の体験されたことを元に話された内容は、説得力があり心に響くものでした。



りんご農園を維持していくためには、「いつもお客様に目を向けていただけるような商品を作り、お客様にリピーターとしてずっと来ていただけること」そのためには、「品質」「施設」の充実。そして、一番大切なことは「心」。

「品質」の改善は常に勉強しないと行かない。一つ一つ分からないことがあれば、いくら忙しくても現地に向かう。私はたった30分の為にりんごの勉強に長野まで行ってこることもある。

「施設」特に駐車場、トイレ、休憩場所の充実。お金をかけて新しい施設を作るのではなく、自分で考えてやる範囲で工夫し、気持ちよい施設に改善する。

「心」こそ、接客のマナー。お客様に対して常に感謝の気持ち忘れず「口でものを言わず、心でものを言う」等々、青少年教育に貴重なご示唆をいただきました。

事例発表・研究協議(2日目)

テーマ：「体験活動の実施と課題」

(1) 事例発表者

国立山口徳地青少年自然の家	企画専門職	小河 泰史氏
山口県十種ヶ峰青少年野外活動センター	指導主事	手嶋 泰寛氏

(2) 指導助言者

国立山口徳地青少年自然の家	所長	宇田川 光男氏
山口県十種ヶ峰青少年野外活動センター	所長	木橋 悦二氏

【事例発表】では、小河氏より、「自然体験活動指導者養成研修会を実施して」と題した発表があり、平成23年度より新学習指導要領の本格実施による小学校長期集団宿泊活動に向け貴重な事例をいただきました。

【事例発表】では、手嶋氏より、「体験活動の実施と課題」と題して、特色ある体験活動の事例が発表されました。

【研究協議】では、プログラムの開発指導システムの充実

施設設備の充実 閉散期の利用促進等についての意見交換が行われた後、指導助言をいただきました。

宇田川所長からは、プログラム開発について、「活動内容の深化・拡大と活動内容の刷新」指導システムの充実について、「指導力の向上と外部講師の活用」等、4つの課題に対して具体的なご示唆をいただきました。

木橋所長からは、「導入時に説明をしすぎない」「変化による予定外の体験を奪うな」等、体験活動10の心得や「子どもが好き、来所者が好き、自分が好き、自然が好き、自然と人を愛する心がなければ体験活動は実を結ばない」という自らの貴重な体験談をいただきました。

また、初日の「森のチャレンジコース」の施設見学、さらに、夜の情報交換会を通して職員同士のネットワークの和が大きく広がり、今後の青少年教育の質の向上に向け連絡、連携、協働の強化が図れました。



心の冒険・サマースクール

主催事業の思い出

本事業へのご支援ご協力ありがとうございました。

主催事業への多数のご参加ありがとうございました。

小学生チャレンジプログラム（8泊9日）

【小学生5・6年：7月20(月)～28(火)】

ペアレントプログラム（3泊4日）

【チャレンジ参加保護者：7月25(土)～28(火)】

小学生ミニチャレンジプログラム（2泊3日）

【小学生5・6年：8月18(火)～20(木)】

中高生クエストプログラム（8泊9日）

【中学・高校生：8月18(火)～26(水)】

野外教育活動指導者研修会（9泊10日）

【教職員他：8月3(月)～12(水)】



自然体験活動

自己の可能性

他者への思いやり

限界への挑戦

自然への配慮



【感想】

日常生活とまるで異なる4日間を送ることができました。時を止めて自分をふり返る事のできた2日目、ものすごく濃い中身を過ごした3日目。静と動の世界の中で、自分をみつめ、仲間をみつめ、有意義な日々を過ごせた事を感謝しています。

天候が悪かったため、親も子どもプログラムの変更を余儀なくされてしまいましたが、その中でもいろいろと考え抜かれた活動が多く、勉強になりました。しかし、そのために何度も下見をして下さったり、変更の話し合いをして下さったり・・・と、スタッフの方には、ご苦労をおかけしました。

今回は、昨年に引き続き2回目のチャレンジでしたが、また一つ、親として、人間として成長させていただいた気がします。「話をよく聞く」「謙虚と感謝」「いつもニコニコ」「信頼」・・・これからも、チャレンジしていきます！

(ペアレントプログラム参加保護者より)

「とくさがみね自然体験プログラム」

PART 2 ～時～ (9月5日～6日)

竹のポンボラ作り



秋の十種ヶ峰山頂にチャレンジ



テント設営



火起こし

【感想】

夕方、山の霧が流れるのを見ながら、子ども達が一生懸命火おこしに取り組んでいる様子に、また、夜明けのさわやかな風にすばらしい「時」を感じました。

～秋の野に咲きたる花をおよび指折りかき数うれば七草の花～

はぎ おくず なでしこ おみなえし ふじばかまあさがお
秋の花尾花葛花瞿麦の花女郎花また藤袴朝貌の花～

(ハギ、ススキ、クズ、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、キキョウ)

(万葉集：山上憶良)

秋の七草は万葉集のこの歌で山上憶良が選定し今に至る。カワラナデシコは山野の日当たりのよい草原や川原を好む。



十種ヶ峰に群生するカワラナデシコ (9/3 撮影：まっち)

一期一会、「秋色の十種ヶ峰」で皆様のお越しを所員一同心よりお待ちしております。

山口県十種ヶ峰青少年野外活動センター

〒759-1602 阿東町嘉年下1883-2

TEL: 083-958-0033 FAX: 083-958-0705

HP: <http://www.journey-k.com/~tokusagamine/>